

総務省 関係人口連続セミナー2021  
関係人口と共創する地域づくりへ Day 2

【兵庫県 洲本市】

関係人口と共に進める  
“域学連携発”ローカルイノベーション

令和4年2月8日(火)15時～@zoomウェビナー

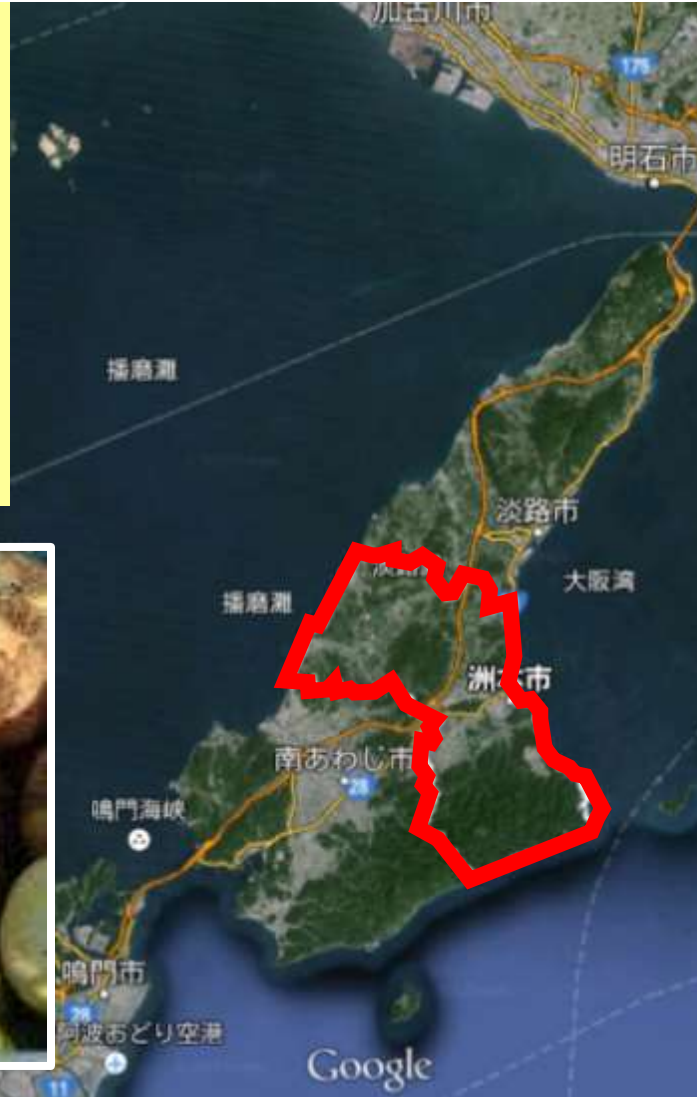
白石 克孝  
富田 祐介  
高橋 壱

龍谷大学副学長・PS洲本株式会社代表取締役  
株式会社シマトワークス代表取締役  
洲本市役所企画情報部企画課【報告者】



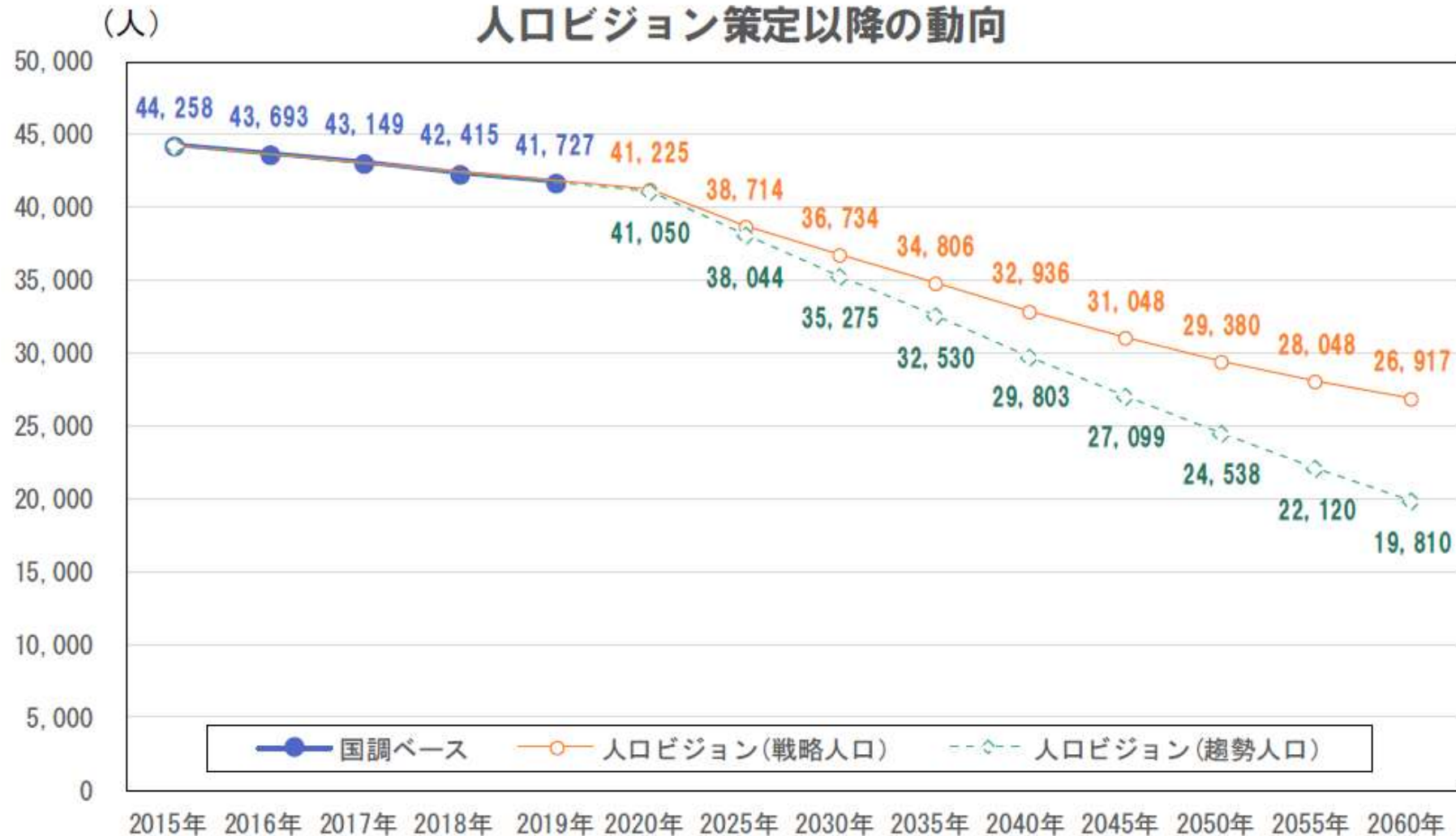
# 淡路島洲本市の紹介

- 面積182.38km<sup>2</sup>  
宅地3割、農地1割、山林6割
- 瀬戸内海気候
- 人口約42千人
- 高齢化率36.5%



御食国（みけつくに）と  
呼ばれる「食の宝庫」！

# 淡路島洲本市の紹介



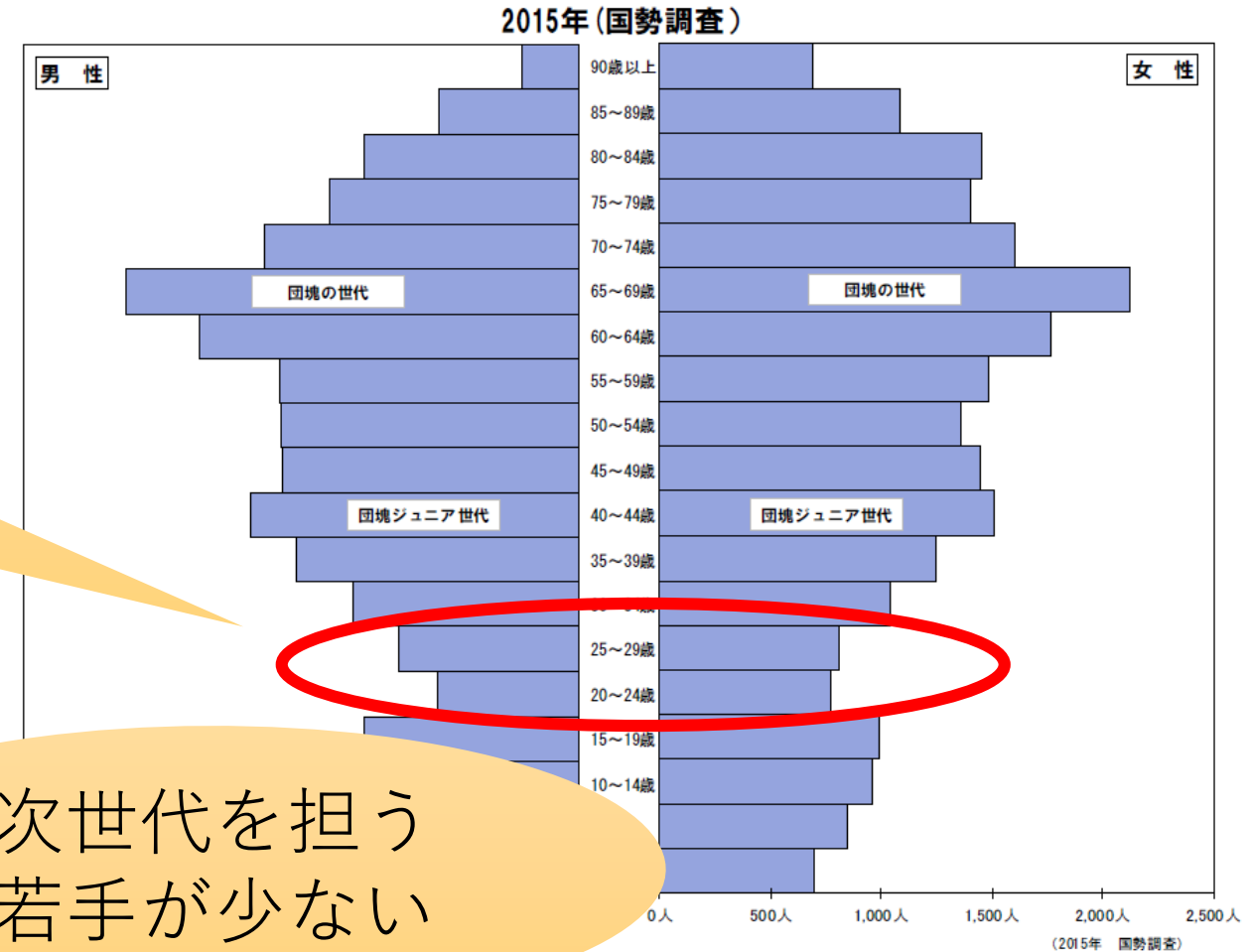
# 淡路島洲本市の紹介

- 淡路島には総合大学が無い
- 洲本市には高校までしかない

高校卒業後  
進学や就職で  
島外へ

一度島から出ると  
帰ってこない

次世代を担う  
若手が少ない



# 淡路島洲本市の紹介

- 若手が出ていくばかりでなく、逆に都市部から呼び込もう
- 大学と連携して、まちづくりをやっていこう

平成25年度から  
【域学連携事業】に取り組み  
もうすぐ丸9年！



# 洲本市の域学連携事業

- 大学の知見の活用
- 学生を若い人材として活用
- 地域の活性化に

- 学生の育成
- 実践の場が得られる
- 教育や研究へのフィードバック

地  
【域】

WIN・WIN

×

大  
【学】

大学生と大学教員が地域の現場に入り、地域の住民や団体とともに地域課題の解決や地域づくりに継続的に取り組み、地域の活性化や人材育成に資する（by総務省）

# 洲本市の域学連携事業

- これまで、20校から約670名もの大学生が洲本市で活動
- 地域と学生で、たくさんの「おもしろい」ことにチャレンジ

挙げるとキリがないので  
「バンカランカ」で検索！  
**bankalanka.com**

洲本市域学連携事業推進計画書も  
要チェック！



# 洲本市域学連携事業8年間の実績・成果 (令和3年4月 企画課)

パンカランカ  
つなぎ

事業の概要：総合大学が無く高校卒業後の若年層人口の減少が顕著な本市が、都市部の大学と協力関係を構築。学生や教員が泊まり込みで市内の地域に入り、ヨソモノや研究者だからこそ気付く地域の魅力や未利用資源を掘り起し、継続性や賑わい創出に配慮した事業モデルを構築・実践。外部人材と地域の人的・物的資源のマッチングにより地域づくりを推進するものであり、本市の関係人口創出にもつながる。

| 連携大学等               | 2013                                                                                                                                                                | 2014                      | 2015                                 | 2016                             | 2017                                                                                | 2018                          | 2019              | 2020            |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|-------------------|-----------------|
| 龍谷大学                | 地域の課題や魅力の発掘、ビジョン策定【鮎原、鳥飼、竹原、大森谷】                                                                                                                                    |                           | 再エネ音楽祭【竹原】                           | かいぼり・竹伐採ツアー開催、鮎原米ブランディング【鮎原】     |                                                                                     |                               |                   |                 |
|                     | 総務省の域学連携モデル地区に選定(2018)                                                                                                                                              |                           |                                      |                                  |                                                                                     | メンマ（あわじ島ちく）商品化、販売開始【安乎、由良】    |                   |                 |
|                     |   |                           | プラチナ大賞、新エネ大賞ダブル受賞(2017)              |                                  |  |                               |                   | オンラインワークショップ開催  |
|                     |                                                                                                                                                                     |                           |                                      |                                  |                                                                                     |                               |                   | 洲本分室の設置【本町】     |
| PS洲本(株)             |                                                                                    |                           |                                      | 2ヵ所の地域貢献型ため池ソーラー発電所設置、運営【塔下、三木田】 |                                                                                     |                               |                   |                 |
| 卒業生任意団体<br>大森谷里山保全隊 |                                                                                                                                                                     |                           | 里山、棚田、文化等を活用した新旧住民交流や集客イベント等の企画【大森谷】 |                                  |                                                                                     |                               |                   |                 |
| 卒業生任意団体<br>MEBUKI   |                                                                                                                                                                     |                           |                                      |                                  |                                                                                     |                               | 鮎原の農産物ブランディング【鮎原】 |                 |
| 龍谷大学×九州大学           | 小水力発電施設の導入調査、設置、保守アドバイス【竹原】                                                                                                                                         |                           |                                      |                                  |                                                                                     |                               |                   |                 |
| 早稲田大学→東京都立大学        |                                                                                   | かつての山道等を活用したトレイルコース整備【竹原】 |                                      |                                  |                                                                                     |                               |                   |                 |
| 京都工芸繊維大学            |                                                                                                                                                                     |                           | ついどはんの改修【鮎原下】                        | YORISOI米田家、特別支援学校跡の改修【本町、下堺】     |                                                                                     | 商店街古民家改修【本町】                  |                   |                 |
| 京都造形芸術大学            |                                                                                                                                                                     |                           | ついどはんネーミング・ロゴ、五色漁協事務所巨大壁画制作【鮎原下、鳥飼】  | 第4回再築大賞にて最高賞受賞(2016)             |                                                                                     |                               |                   |                 |
| 兵庫県立大学              |                                                                                 |                           | ついどはん庭デザイン、ナルトサワギク防除試験【鮎原下、竹原】       |                                  |                                                                                     |                               |                   |                 |
| 京都大学エスノ3ジョウ         |                                                                                                                                                                     |                           |                                      |                                  | レトロこみちチラシ制作、イベント出店【本町】                                                              |                               |                   |                 |
|                     |                                                                                                                                                                     |                           | 蒼開高校のビジネスプランが日本政策金融公庫コンペで上位入賞(2019)  |                                  |                                                                                     | 大学生地域創生会議・洲本ビジコン開催、域学連携推進計画策定 |                   |                 |
| 流通科学大学              |                                                                                                                                                                     |                           |                                      |                                  |                                                                                     |                               |                   | 鮎屋活性化に関する調査【鮎屋】 |
| 学生等参加者数             | 79                                                                                                                                                                  | 60                        | 83                                   | 68                               | 44                                                                                  | 63                            | 83                | 73              |



# 洲本市の域学連携事業

- ・域学連携による活動や成果は、各方面で高く評価

平成28年度  
再築大賞受賞

平成29年度  
プラチナ大賞受賞

**令和2年度  
関係人口創出・拡大  
モデル事業に採択**

平成29年度  
新エネ大賞受賞

令和元年度  
ふるさとづくり大賞受賞

令和3年度  
日本計画行政学会  
計画賞本戦出場



# 関係人口創出・拡大モデル事業

## 卒業生との関係再構築による “即戦力人口”創出事業

～洲本に「おもしろい」の学校をつくる～

現役学生にこだわらない、域学連携の発展形を目指し、、、

- 本市で活動したのち卒業した大学OBやOGとの関係再構築
- OBOGの就職先など、都市部の企業や団体も含めて交流、連携

# 関係人口創出・拡大モデル事業

## 事業 1

### オンラインワークショップ 「おもしろい学校」の開催

- ・域学連携事業の蓄積を生かしながら、本市の活性化に向けた実践的なワークショップをオンラインで5回、現地で1回開催。272人が参加。
- ・ワークショップから生まれた3件のローカルプロジェクトが、具現化を目指すことになった。



### “おもしろい”を真面目に考える

域学連携や関係人口の“おもしろさ”とは何か、“おもしろい”をいかに創るか、“おもしろい”はビジネスになるのか、“おもしろい”をいかに広げるか etc... 多彩なゲストとともに“おもしろい”を深掘り。“おもしろい”ことは、とっても大事！

# 関係人口創出・拡大モデル事業

## 事業 2

### 情報交流ポータルサイト 「バンカランカ」の開設

- ・ 洲本市をおもしろくしようとする域学連携や関係人口にまつわるプロジェクトと、それに関わる人たちの声を紹介。
- ・ 地域を思い出したり、応援したり、そんな気軽に継続的な「つながり・交流」を生み出す。



### バンカランカって？

何かおもしろいことをやるときに「遊ばんか！」  
「作らんか！」と呼びかけ、それに「よっ  
しゃー！」と応える、そんな土壤が洲本市にはあ  
ります。バンカランカとは、おもしろいことを一緒  
にやろうと思わせる魔法の言葉です。



事業の  
背景・目的

地域課題

- ✓ 人口減少、高齢化、担い手不足
- ✓ 進学に伴う若年層の地域外への流出

地域の理想の姿（概ね5年後）

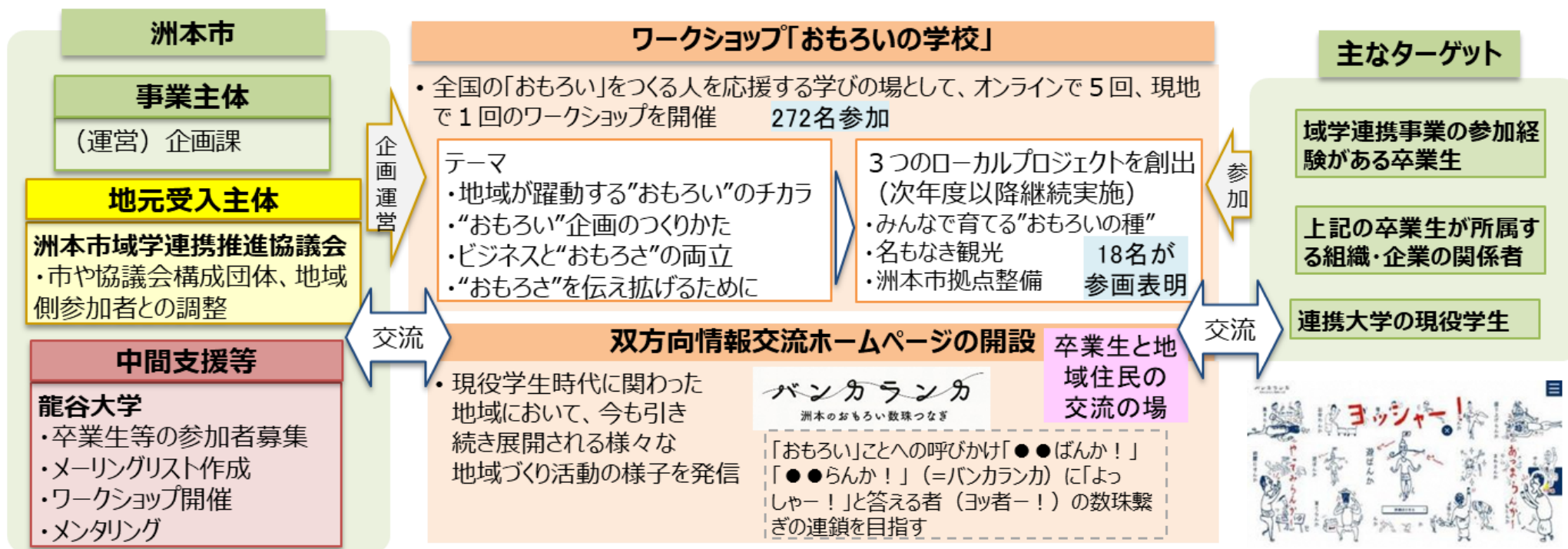
- ✓ 卒業生等が、本市の地域づくりを企画・実践。
- ✓ 卒業生が所属する企業のCSR活動やビジネスのフィールドとして本市が選ばれている。
- ✓ 卒業生等との関係継続の仕組みや体制を構築

本年度の目標

- ✓ 卒業生がいつまでも関係人口として在り続けてもらうための機運が醸成され、その次につながるためのネットワークが構築される

取組の  
概要

市の域学連携事業に参画した大学卒業生等との連携による地域づくりの実践と、実践拠点整備を目指すワークショップを実施。また、卒業生と地域住民との双方向の情報交流を促進し、関係を継続させる仕組みとしてホームページを開設。



事業の  
背景・目的

地域課題

- ✓ 人口減少、高齢化、担い手不足
- ✓ 進学に伴う若年層の地域外への流出

地域の理想の姿（概ね5年後）

- ✓ 卒業生等が、本市の地域づくりを企画・実践。
- ✓ 卒業生が所属する企業のCSR活動やビジネスのフィールドとして本市が選ばれている。
- ✓ 卒業生等との関係継続の仕組みや体制を構築

本年度の目標

- ✓ 卒業生がいつまでも関係人口として在り続けていくための機運が醸成され、その次につながるネットワークが構築される

## モデル事業をきっかけに 域学連携の進化を実感

- ・ 関係人口ターゲットの広がり（関わりシロUP）
- ・ 取組の実施体制の変化（市だけでなく民間も）
- ・ 取組の質の変化（一層おもろく、実践的に）

龍谷大学

- ・ 卒業生等の参加者募集
- ・ メーリングリスト作成
- ・ ワークショップ開催
- ・ メンタリング

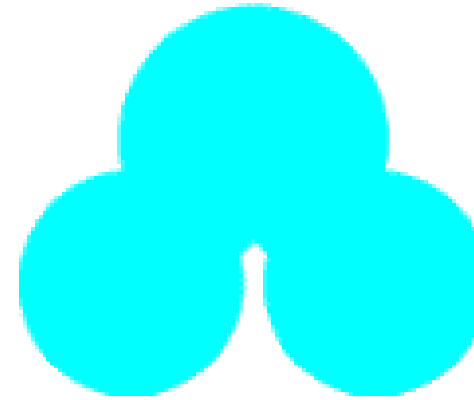
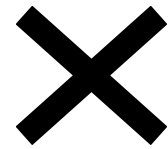
地域に...  
続き展開される様々な  
地域づくり活動の様子を発信

交流の場

「おもろい」ことへの呼びかけ「●●ばんか！」  
「●●らんか！」（＝バンカランカ）に「よっ  
しゃー！」と答える者（ヨッ者ー！）の数珠繋  
ぎの連鎖を目指す



## “域学連携発”ローカルイノベーション



洲本市  
Sumoto City

- 平成25年、龍谷大学の白石先生から“一緒にやろう！”と言っていただき、洲本市で「域学連携」がスタート
- 龍谷大学は、再生可能エネルギーの活用による地域活性化をテーマの一つに掲げ、市内で活動

## “域学連携発”ローカルイノベーション

- 平成25年 洲本市再エネ条例制定支援
- 平成26年 自家消費型小水力発電施設を設置
- 平成28年 白石先生らが発電会社 **PS洲本(株)を設立**
- 平成28年 龍谷大、PS洲本、洲本市、信金信組2行の5者で**地域貢献型再エネ事業推進協定**を締結
- 平成29年 協定に基づき、PS洲本が**市有の農業用ため池2ヵ所に地域貢献型太陽光発電所を設置**

非営利型  
株式会社



## “域学連携発”ローカルイノベーション



塔下新池ため池ソーラー発電所

73kW 事業費約22百万円



龍谷フロードソーラーパーク洲本

1,706kW 事業費約7億円

# “域学連携発”ローカルイノベーション



ちなみに対義語は「収奪型再エネ事業」で、全国のメガソーラーのほとんどがソレです（売電の恩恵が地域にほとんど残らず、お金持ち企業しか儲からない）

## 地域貢献型再エネ事業とは

- ①人（施工等業者・住民団体）物（未利用資源・公有財産）金（融資金融機関）が市内にある資源を中心に賄われることで、経済が循環する。
- ②売電利益が地域活性化のために活用される。

# “域学連携発”ローカルイノベーション

PS洲本及び洲本未来づくり基金による地域活性化支援

R3  
直営事業



令和3年3月、洲本商工会議所1階に「龍谷大学ユヌスソーシャルビジネスリサーチセンター洲本ランチ」を開所。社会起業家育成支援の拠点として、また、コワーキングスペース「島の編集室SENKA」として常時オープン。



# “域学連携発”ローカルイノベーション

PS洲本及び洲本未来づくり基金による地域活性化支援

R3  
団体助成



洲本ブランチを活用  
したデジタル人財育  
成講習会開催

【オニオンデザイン】



放置竹林の適正管理  
と、あわじ島ちく  
（メンマ）製造販売

【あわじ里山プロジェクト】



原木椎茸やお米のブ  
ランディング・商品  
開発

【大森谷里山保全隊Rijin】



(株)シマトワークス  
による「淡路島ゼ  
ロイチコンソーシ  
アム」の設立運営



# “域学連携発”ローカルイノベーション

about



shimato works



しげちゃん・トミー・たまちゃん

- 富田さん（トミー）が平成26年に洲本市に設立。
- 島に溢れる多種多様な資源に新しい価値を結び付け、わくわくする企画を提案。
- 新規・既存事業の戦略立案、地域コーディネート、ワーケーション事業等に取り組む。

# “域学連携発”ローカルイノベーション



1F



2F



## Workation Hub 紺屋町

2021年5月7日オープン！



# “域学連携発”ローカルイノベーション



“持続可能性の高い社会を目指す”  
“人々が思い描く明るい未来が実現する”  
そんな事業を関係人口とともに創出

ニューノーマル時代の新しい働き方  
や暮らし方を示し、若者が地方に  
【憧れ】を抱けるように

# “域学連携発”ローカルイノベーション

【地域サイド】

【関係人口サイド】

ワーケーション利用者や  
新たな関係人口の呼び水に

## ① 淡路島ゼロイチコンソーシアム

 shimatoworks

 淡路信用金庫

 洲本市  
Sumoto City

事業化サポ  
ート

ワンス  
トップで

### Workation Hub 紺屋町

を利用する都市部企業

- ・ 日建ハウジングシステム NIKKEN
- ・ 建設環境研究所  etc...

地元企業  
地域団体

連携  
地域資源提供

支援・助成

共創

指導・助言

PS 洲本  
洲本未来づくり基金

連携大学  
インターン

有識者  
専門家

令和4年6月より  
地域おこし協力隊員を投入予定

新しい事業や  
プロジェクトを生み出す

ゼロイチ



# “域学連携発”ローカルイノベーション

## 淡路島ゼロイチコンソーシアムの(生後間もない)新事業

### New Neighbors 構想

キャンプ場×ファーマーズマーケット ⇒ 人と食が集まる場：グルメキャンプ

洲本市に既にある農業や畜産業の活用し、周囲に点在する直売所を集約する。キャンプ場を利用する人が食材を購入したり、観光客や地域に住まう方が食材を購入に来るなど、人が食を通じて集い「食」をテーマとしたエリアを創出する。



市内某所で整備中のキャンプ場を舞台に、都市と地方・地域との新たなつながりをデザイン

NIKKEN

### 淡路島Green + Workation Project



淡路島の里地・里山・里海の多様性を知り、それらの継承活動を取り入れたクオリティの高い働き方を提案



### “すもと大学”をつくる！



学生のキャリアアップやインターン仲介を行う企業とともに、学生の活躍機会を一層拡大し、学生でにぎわう街に

# ローカルイノベーションの要因

- **関係者が9年も付き合ってくれた**  
(市役所内の予算や人事なども含め)
- **マンネリ化せず、変化し続けた**  
(“地域×大学” “内発的発展”という縛りからの脱却)
- **使えるお金を生む仕組みができた**  
(龍谷大学のおかげです)
- **地域×関係人口で良いチームができた**  
(古参新参、地域内外の関係なく、同じ夢を持てる)
- **“怪物”を核に超ポジティブ姿勢を貫けた**  
(“おもしろい”とか“懂れる”ことに向かう突破力がある)

## 一方、反省点は多い

- ⇒ 時間を使いすぎ (9年も必要だったのか)
- ⇒ ゴールやビジョンからの逆算ではない (うれしい誤算を期待する臨機応変ボトムアップ型で良いのか)
- ⇒ 短期的/長期的な目的、投資、成果、評価があいまい (明確にすることの難しさ)
- ⇒ 属人的スキームから抜け出せていない (誰でもできるのか)
- ⇒ 市は結局「つなぐ」ことしかしていない (もっとできたのでは)



やってみらんかい

みなさんの参考になれば幸いです

洲本市役所企画情報部企画課

高橋 壱（新エネ・域学連携担当係長）

Hajime\_Takahashi@city.sumoto.lg.jp

<https://bankalanka.com>

<https://www.city.sumoto.lg.jp/site/enepa/>



ヨッシャー

